



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 株式会社マミーマートホールディングス 上場取引所 東
コード番号 9823 URL <https://mami-mart-holdings.com/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）岩崎 裕文
問合せ先責任者 （役職名）財務部長 （氏名）岩本 潤 TEL 048 (654) 2514
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期第3四半期	171,674	20.5	6,136	0.7	6,648	3.6	4,478	3.3
2025年9月期第3四半期	142,491	19.6	6,094	10.1	6,414	7.3	4,334	7.6

（注）包括利益 2026年9月期第3四半期 4,779百万円（7.3％） 2025年9月期第3四半期 4,449百万円（9.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	89.51	—
2025年9月期第3四半期	86.68	—

（注）当社は2025年10月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年9月期第3四半期	98,976	46,029	46.5	919.56
2025年9月期	86,792	42,416	48.8	847.24

（参考）自己資本 2026年9月期第3四半期 46,029百万円 2025年9月期 42,373百万円

（注）当社は2025年10月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	42.00	—	63.00	105.00
2026年9月期	—	10.00	—		
2026年9月期（予想）				11.20	21.20

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注）当社は2025年10月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行っております。2025年9月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2026年9月期（予想）については、当該株式分割後の数値を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2026年9月期（予想）の年間配当金は、106円となります。

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	235,000	21.3	7,000	3.8	7,600	5.6	5,300	1.0	105.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

（注）2026年5月22日に公表している「2026年9月期 中間期決算説明会資料」の通期見通しの営業収益数字からは変更はありません。

（注）当社は2025年10月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行っております。2026年9月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 （社名）株式会社マミーマート、除外 ー社 （社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期3Q	53,983,965株	2025年9月期	53,983,965株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	3,927,515株	2025年9月期	3,970,245株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期3Q	50,037,500株	2025年9月期3Q	50,004,325株

（注）当社は2025年10月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数、自己株式数、期中平均株式数を算出しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績数値

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調にあるものの、中東情勢を受けたエネルギー価格の変動リスクや、物価上昇の長期化など、先行き不透明な状況が継続しております。

食品スーパーマーケット業界におきましても、物流費や人件費等の各種コスト高騰が継続し、お客様の生活防衛意識が高まるなど、厳しい経営環境となっております。

このような環境下、当社グループは持株会社体制の下、「進化フォーマットの構築」と「構造改革の遂行」を強力に推進し、各種施策の実行と徹底度を上げることで一段高い収益基盤の構築を図りました。

店舗展開におきましては、当期中に新規出店をかつてないスピードで実行し、トップラインの成長を強力に牽引しております。これら戦略的な先行投資をこなしながらも既存店の収益力で吸収し、当第3四半期連結累計期間の連結営業成績は、営業収益171,674百万円（前年同期比20.5%増）、営業利益6,136百万円（同0.7%増）、経常利益6,648百万円（同3.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,478百万円（同3.3%増）と、過去最高水準を更新いたしました。

一方、前期に業態転換を実施した既存店舗におきましては、オープン時の初期特需が一巡したものの、これは当初計画通りの定常状態への移行と捉えております。季節要因等を排除した改装前平常時との比較検証においても、客数及び客単価は以前の基準を上回る一段高い水準（新たなベースライン）で明確に定着しております。これにより、新規出店によるトップライン成長と、既存店における営業キャッシュフロー創出力の構造的な底上げが両立し、積極的な先行投資を支える強固な事業基盤と持続可能な全社の好循環を実現しております。

さらに、この新たなベースラインを支える既存店の労働生産性向上に向け、次世代インフラへのシステム更新を加速させております。

物流面では、将来の大幅な取扱物量増にも対応可能な「松伏物流センター」を稼働させたほか、店舗運営の構造改革として、「鮮魚プロセスセンター」による店舗加工業務の集約と高鮮度商材の供給体制を確立いたしました。加えて、AI需要予測やMD支援システムの本格運用を通じ、属人的なオペレーションからの脱却を図り、コスト最適化と生産性向上を着実に実行してまいります。

セグメント別の営業状況は、以下のとおりです。

(スーパーマーケット事業)

売上高 171,289百万円（前年同期比20.5%増）

セグメント利益 6,067百万円（前年同期比 0.6%増）

(その他の事業(温浴事業・葬祭事業))

売上高 385百万円（前年同期比 1.3%増）

セグメント利益 69百万円（前年同期比 5.9%増）

2026年6月30日現在の店舗数は、93店舗（マミーマート他34店舗、生鮮市場TOP! 41店舗、マミープラス16店舗、温浴事業1店舗、葬祭事業1店舗）となっております。

（前年同期比増減 マミーマート6店舗減、生鮮市場TOP! 10店舗増、マミープラス2店舗増）

②企業の経営方針及び取り組み

当社グループ（当社及び連結子会社）は、食生活を通じて地域のお客様の健康と笑顔あふれる豊かな人生を応援する「Enjoy Life!」（※）のグループコンセプトのもと、以下の取り組みを実施しております。

（※）「Enjoy Life!」とは、地域のお客様に毎日の食生活を通じて、健康で笑顔あふれる豊かな人生を楽しんでいただくことを応援する、マミーマートグループ独自のコンセプトです。

〔地域No. 1店舗の構築〕

従来型の食品スーパーマーケットからの脱却と、自社に優位性のある要素をさらに磨き上げる戦略を推進しております。商品面におきましては、お客様の来店目的となる「ディスティネーションアイテム」の開発に注力し、一般社団法人全国スーパーマーケット協会主催の「お弁当・お惣菜大賞2026」において、13年連続受賞（全国1位3品を含む計15品）を達成するなど、他社には模倣困難な商品開発力を実証いたしました。

〔新規出店と改装スピードアップとエリア拡大〕

広域商圏型の「生鮮市場TOP!」及び「マミープラス」への業態転換と新規出店を成長ドライバーと位置づけ、当期は新規出店をかつてないスピードで実行いたしました。

年月	区分	業態	店舗名	所在地
2025年10月	活性化		生鮮市場TOP 籠原店	埼玉県熊谷市
	新規出店		生鮮市場TOP 龍ヶ崎サブラ店	茨城県龍ヶ崎市
2025年11月	新規出店		生鮮市場TOP アクロスプラザ宇都宮インターパーク店	栃木県宇都宮市
	新規出店		生鮮市場TOP 東久留米店	東京都東久留米市
2026年1月	活性化		生鮮市場TOP 東松山店	埼玉県東松山市
2026年2月	新規出店		生鮮市場TOP 太田飯塚店	群馬県太田市
	新規出店		生鮮市場TOP 新座店	埼玉県新座市
2026年3月	新規出店		生鮮市場TOP 大成店	〃 さいたま市
2026年4月	新規出店		生鮮市場TOP ひたちなか店	茨城県ひたちなか市
2026年5月	業態転換		マミープラスあけぼの店	千葉県柏市
2026年6月	活性化		生鮮市場TOP 南柏店	〃

当期は9店舗の新規出店及び1店舗の業態転換を伴う改装、活性化改装3店舗を予定しております。

〔飛躍的な成長を支える人材育成〕

各種コストの上昇局面に打ち勝ち、利益を創出するための「労働生産性の向上」には、主体的にチャレンジする人材の育成が不可欠です。当期は過去最多規模となる約160名の新入社員を迎え入れたほか、多国籍人材が長期的な戦力として活躍できるようダイバーシティ推進を強化しております。また、従業員が能力を最大限に発揮できる環境整備に注力した結果、「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」に認定されるなど、働きがいと働きやすさを両立させた人的資本の拡充を図っております。

〔CSR活動〕

グループコンセプトである『Enjoy Life!』に基づき、食品スーパーを単なる小売業ではなく「地域の食のインフラ」として機能させるための活動を継続しております。次世代の情操教育を支援する「全国児童画コンクール」への参画や、「補助犬支援活動」「国連難民支援キャンペーン」などを通じた地域交流を深めております。また、新たに東京都羽村市及び千葉県野田市と災害時における物資の供給等に関する協定を締結し（累計34自治体）、有事の際にも地域の生命線を守るインフラ企業としての責務を果たしてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より12,184百万円増加し98,976百万円となりました。資産の主な増加要因は、売掛金の増加912百万円、新規出店に伴うリース資産（純額）の増加3,545百万円、建物及び構築物（純額）の増加2,826百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末より8,571百万円増加し52,946百万円となりました。負債の主な増加要因は、買掛金の増加1,994百万円、短期借入金の増加3,400百万円、新規出店に伴うリース債務の増加3,610百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より3,612百万円増加し46,029百万円となりました。純資産の主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の連結業績予想に関しましては、2026年5月22日公表の「2026年9月期 中間期決算説明会資料」に記載した通期の営業収益予想から変更はありません。今後、業績に大きな影響を及ぼす事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,518	2,539
売掛金	4,513	5,425
商品	3,855	4,626
貯蔵品	4	4
その他	2,936	3,743
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	13,826	16,337
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,868	19,694
機械装置及び運搬具（純額）	571	757
土地	22,143	22,143
リース資産（純額）	15,233	18,778
建設仮勘定	789	944
その他（純額）	2,636	3,842
有形固定資産合計	58,242	66,160
無形固定資産	218	508
投資その他の資産		
投資有価証券	524	819
長期貸付金	3,665	3,999
差入保証金	6,296	6,917
賃貸不動産（純額）	390	402
繰延税金資産	2,458	2,331
その他	1,174	1,503
貸倒引当金	△6	△5
投資その他の資産合計	14,503	15,969
固定資産合計	72,965	82,639
資産合計	86,792	98,976

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,155	15,149
短期借入金	4,000	7,400
リース債務	1,317	1,701
未払費用	4,250	4,255
未払法人税等	1,342	1,394
賞与引当金	646	219
その他	923	890
流動負債合計	25,636	31,010
固定負債		
リース債務	14,592	17,818
長期預り保証金	1,218	1,234
役員退職慰労引当金	436	464
退職給付に係る負債	1,329	1,253
資産除去債務	1,135	1,138
その他	27	25
固定負債合計	18,738	21,936
負債合計	44,375	52,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,890	2,898
利益剰余金	38,412	41,761
自己株式	△2,042	△2,037
株主資本合計	41,921	45,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	236	437
退職給付に係る調整累計額	215	309
その他の包括利益累計額合計	451	747
非支配株主持分	43	—
純資産合計	42,416	46,029
負債純資産合計	86,792	98,976

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	140,763	169,921
売上原価	109,418	133,203
売上総利益	31,345	36,718
営業収入	1,728	1,752
営業総利益	33,073	38,471
販売費及び一般管理費	26,978	32,334
営業利益	6,094	6,136
営業外収益		
受取利息	38	57
受取配当金	14	19
不動産賃貸料	95	149
受取手数料	198	213
受取保険料	7	172
その他	157	270
営業外収益合計	512	882
営業外費用		
支払利息	114	252
不動産賃貸費用	74	114
その他	3	4
営業外費用合計	192	371
経常利益	6,414	6,648
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	11	7
特別損失合計	11	7
税金等調整前四半期純利益	6,403	6,641
法人税、住民税及び事業税	2,065	2,157
法人税等合計	2,065	2,157
四半期純利益	4,338	4,483
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,334	4,478

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	4,338	4,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	201
退職給付に係る調整額	48	93
その他の包括利益合計	111	295
四半期包括利益	4,449	4,779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,445	4,774
非支配株主に係る四半期包括利益	3	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	2,474百万円	3,234百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	スーパーマー ケット事業				
営業収益(注4)					
外部顧客への営業収益	142,111	380	142,491	—	142,491
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	1	0	1	△1	—
計	142,113	380	142,493	△1	142,491
セグメント利益	6,029	65	6,094	—	6,094

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 重要性が増したため、売上高には、営業収入を含めております。影響額は以下のとおりです。

スーパーマーケット事業：1,704百万円、その他：23百万円、合計：1,728百万円

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	スーパーマー ケット事業				
営業収益(注4)					
外部顧客への営業収益	171,289	385	171,674	—	171,674
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	0	0	0	△0	—
計	171,289	385	171,675	△0	171,674
セグメント利益	6,067	69	6,136	—	6,136

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 重要性が増したため、売上高には、営業収入を含めております。影響額は以下のとおりです。

スーパーマーケット事業：1,731百万円、その他：20百万円、合計：1,752百万円

(収益認識関係)

前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計
	スーパーマ ケット事業		
商品の販売（売上高）	140,407	356	140,763
その他（営業収入）	596	23	620
顧客との契約から生じる収益	141,003	380	141,384

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. 四半期連結損益計算書上の営業収入に含まれる顧客との契約から生じる収益以外の収益は、当第3四半期連結累計期間において1,107百万円であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計
	スーパーマ ケット事業		
商品の販売（売上高）	169,557	364	169,921
その他（営業収入）	609	20	630
顧客との契約から生じる収益	170,166	385	170,551

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. 四半期連結損益計算書上の営業収入に含まれる顧客との契約から生じる収益以外の収益は、当第3四半期連結累計期間において1,122百万円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。